

昭和48年1月13日第三種郵便認可

HSK通巻520号

発行日/2015年7月10日(毎月10日発行)

編集人/白老町手をつなぐ育成会 佐藤春光

北海道白老郡白老町字萩野310-110

TEL(0144)83-3537

会報/226

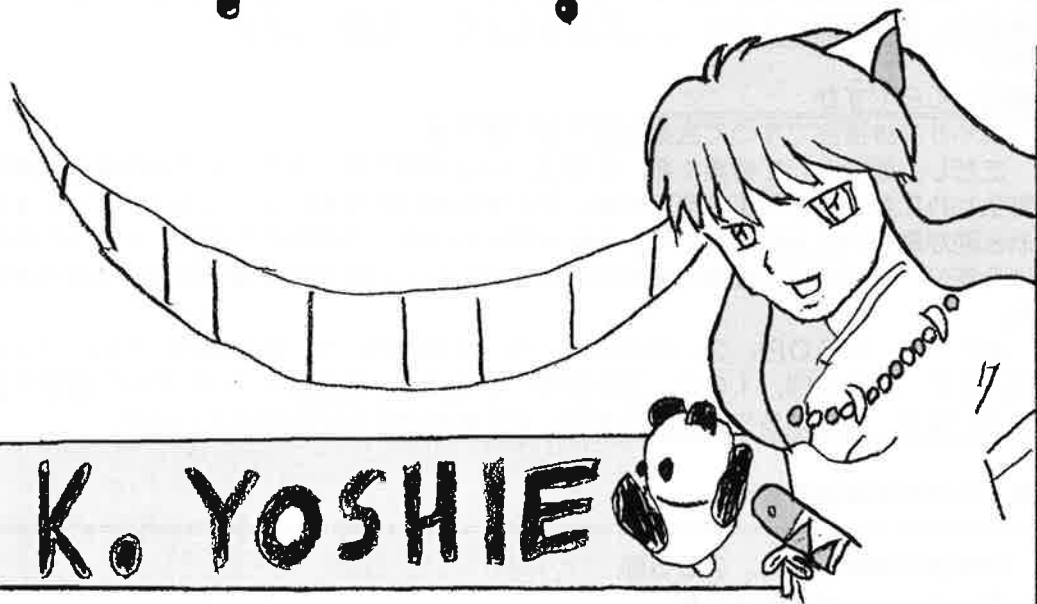
発行人/北海道障害者団体定期刊行物協会(HSK)

定価/1部100円(会費に含む)

HSK

2015.7月号

ほほえみ



K. YOSHIE

白老町手をつなぐ育成会

大変申し訳ありませんでした

先月号でフロンティア後援会の振込用紙が届いたと思いますが、「後援会費がいくらの
のか金額が書いていない」「今まで手をつなぐ育成会后援会だったのではなかったのか」
等疑問がフロンティアまで沢山寄せられました。残りの紙面がわずかしかなかったため説
明が足りなくなってしまう大変申し訳ありませんでした。

疑問 1

後援会の性格

この後援会は、育成会が作業所を建設した時、作業所を支援するために創られたもの
です。そのため会費の使い道は、送料、印刷代を差し引いた残りを作業所の応援に
使わせていただいていた。設立時は、個人3,000円、団体5,000円では
したが、3種郵便の認可が取れたとき送料が軽減された事から、年会費を2,000円
に変更しました。

その時から、広く作業所の支援を訴えようと考え、知り合った様々な人に断られな
い限り会報をお届けするようにしました。その中には、お互いの情報交換も含めて全
道/全国の育成会や作業所にも送らせていただきました。

ですから会費は決めましたが、あくまでも任意として緩やかな後援会員制をとって
きました。今回育成会后援会からフロンティア後援会に名称を変更したのは、フロン
ティア登別の建設資金の募集に合わせ、趣旨と名目を一致させようと口座を開設した
からです。

フロンティア後援会は、社会福祉法人ホープが運営している事業所全てを支援し、
新しい障がい者福祉事業を応援する後援会です。たくさんの皆さんの善意を実現する
事業所として奮闘しますので、これからもよろしくお願ひします。

疑問 2

会費はいくらですか

緩やかな後援会ですので会費の納入は任意です。

ただし、原則として会員1名、年間2,000円です。すでに一生分の後援会費を
支払われた方や5年分10年分をまとめて支払われた方もいらっしゃる。ですが
お名前が載るのは支払われた年しか載りませんので、ご容赦ください。苦しいときは
5年分、10年分の後援会費の納入をお願いしながら身勝手な対応ですみませ
ん。

また、1,000円、2,000円、3,000円、5,000円、10,000
円、50,000円、100,000円と体力によって支払っていただいた金額も違
っています。失礼は多々あるのですが、全てありがたくいただいています。

平成26年度後援会費収支

月発送会報数→約1,200部

収 入 納入後援会費→

873,700円

支 出

送 料

15,600円×12ヶ月=187,200円

印刷、封筒代

47,000円×12ヶ月=564,000円

作業費（帳合、折る、封筒入）

円×12ヶ月=122,500円

合 計

0円

後援会費の納入ありがとうございました

平成27年度分として納入いただいた方のお名前です。ありがとうございました。

金岩攝子、肥留間紘子、遠田芳子、貳又聖規、白石芳子、片山雅博、片山のぶ子、阿部まき、小野千恵子、三野美恵子、中島康晴、松島昭子、荒井佳名子、有田喜美子、有田勝、田湯憲明、田湯ひろみ、田湯加那子、山口純子、佐々木清、佐々木雅子、糸川弘子、佐藤貞、佐藤望、佐藤満、佐藤志保、佐藤翔、上野正敏、鎌田忠男、国本忠孝、前田達宏、高橋千栄子、田淵博美、石河愛子、松岡幸子、黒沢剛、橋本康雄、金子敏夫、金子イヨ、蒲原章、蒲原令子、平修、岡山英次、村田恵子、加藤泰男、加藤武信、石井洋輝、豊岡一、美濃広行、山口由美、田中紗代、栗林隆司、高田兼昭、中山晃一、鶴飼和敏、大山芳枝、細川義治、相澤道男、西澤貞雄、金子弘、宮本式子、松田タイ、武田ミヤ子、吉岡茂樹、松田博志、竹本亮典、山口奈美、杉中貴与史、山下久雄、佐藤満、片石幸子、福田眞弓、中村明美、西本栄治、丸山伸二、佐藤里子、西條林哉、片山敏明、林豊、東海林優、三谷耕、多原良子、赤平勝子、渡辺昭治、坂本剛、上田道子、羽山陽子、大淵紀夫、紺野恵美子、吉田翠、伊瀬進、駒本智佐子、小川智恵子、嶽本海承、宮岸正雄、相川誠、浜部敏明、門脇友子、田口良恵、堀尾昌司、塩崎珠美、新保裕、前田敦博、坂本元次、佐藤浩、佐藤佳子、曾根光男、打矢美和子、山口和雄、秋山ゆり子、岡澤林太郎、大坂一彦、金子敏明、藤井孝三、藤井節子、杉原文子、尾崎弘子、橋本紀子、秋保肇、秋保邦子、高谷恵子、広橋博子、山崎美幸、清水真由美、中馬潔子、問谷佳子、古俣博之、坂東道子、上村裕子、横井慎吾、藤田良一、藤田美津子、大井香代子、根本教久、小倉幹夫、小倉美智枝、佐野節子、成田 弘、齊藤英司、高畑よし子、有島珠美、白鳥克巳、白鳥明美、田川みゆき、(有)丸吾水産、幡谷彰生、幡谷裕美、鈴木秀寿、荒川三枝子、児玉久美子、船越小津恵、鈴木孝義、鈴木幸子、黒田明雄、神戸典臣、東山安治、三上理奈、三河和枝、坪谷真紀、板木 司、桐山智枝、岩崎良子、佐藤照美、坂井光江、植村美代子、植村博行、不二家F・C白老店、工藤哲也、岸本よし枝、石井和子、戸田安彦、白田忠美、大上恵美子、小谷地恭子、菅井勝実、高田正紀、山中道博、本郷英彰、西倉邦昭、清川昌廣、金子 満、佐竹晴夫、中西隆広、東田美智子、香田裕之、松尾久美子、笹原明美、金富久子

旅するまほう

2015
7/4 (土) 15:00 start

14:30 open / 15:00 start

白老コミセン大ホール

当日 1500円

主催 文化を愛して語りあう会

www.hinodeya.com

ひのき屋公演で元気をもらいました

7月4日(土)15時~白老
コミセン大ホールにたいこ劇
団ひのき屋さんの元気いっ
ぱいの演奏が広がりました。

文化を通して育ちあう会
では、年2回、会員を中心
に様々な文化公演を行う計
画を立てています。

1回の公演を企画するのに約50万円かかります。

たくさんの方が会員になることによって、白老での文化活動を保障しあいたいものです。年会費は1500円です。



ふろんていあ♡メール

Frontier

就労支援施設
フロンティア♡MAIL

2015年7月号

〒059-0922
白老町萩野 310-110
TEL・FAX 0144-83-3537

フロンティア日帰り旅行へ出発

フロンティアの今年の旅行は、春と秋の2回で日帰り旅行をすることになり、第1回目の春の日帰り旅行は、近いけどなかなか行く機会がなかった登別マリンパークニクスへ6月17日(水)・6月18日(木)の2日間2班に分かれて行ってきました。

当日はフロンティア登別のメンバーとも現地で合流し、1日目は利用者・職員合わせて24名・2日目は34名で楽しく出発しました。

天候にも恵まれ、ペンギンパレードやイルカショーにアシカショーなどのショータイムも楽しく見学し、近年新しく出来たいわしの銀河水槽では沢山のいわしの大群に感動しました。

数週間前から楽しみだった日帰り旅行！所員研修では、何の魚がいるか？とか当日のお昼は何を食べるかとか？お土産は何が良いかなど…。本当に楽しみだった旅行です。

準備の為に下見に行ったり、どんな食べ物があるかなど色々しらべてくれた職員の方々、2日間送迎してくれたバスの運転手さん大変お疲れ様でした。

今年2回目の秋の日帰り旅行は10月の予定です。今度は何処に行くのかなあ～？

今回の日帰り旅行を振り返っての アンケート結果！！

Q 今回の日帰り旅行で楽しかったものは？

- 第1位 イルカショー
- 第2位 ペンギンパレード
- 第3位 買い物

Q レストランで何を食べましたか？

- 第1位 カレー (エビフライカレー含)
- 第2位 ラーメン
- 第3位 うどん

Q 今度は何処に行ってみたいですか？

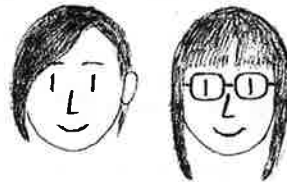
- 第1位 札幌
(円山動物園・開拓村・本屋・アニメイト・時計台等)
- 第2位 小樽
- 第3位 富良野



登別マリンパークの思い出

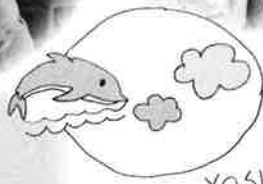
感想文&イラスト写真館

行く予定だったのに仕事で急遽お留守番になった私達の似顔絵を橋本君が描いて一緒に登別マリンパークへ連れていってくれました。
優しい橋本くんありがとう！



高橋千栄子 山口奈美

上のイラストを描いた橋本画伯です！



K. YOSHIE



6月17日にマリンパークに、皆で行って来たけどペンギンがとっても可愛かったよ。
☆・☆・☆・☆・☆・☆・☆・☆・☆
イルカショーも、とてもよかったです。
また、行きたいです☆
☆ SAYURI ☆



いきいきと楽しく働く場をめざして

2015年7月号

フロンティア登別通信

〒059-0463
登別市中登別町88-2
TEL/FAX
0143-83-7878

鹿バーグ(ユクバーグ)お試しあれ!!

6月から発売したフロンティア登別のオリジナル商品「鹿(ユク)バーグ」。発売からひと月ほどたち各社マスコミさんにも注目されて室蘭のFMびゅ〜さんは、フロンティア登別からの試食PRが生中継され、室蘭民報さんや北海道新聞さんからカラーで大きな記事を掲載していただきました。

新聞などを見たというお客様や本州などからの観光客の方などを中心に少しずつ売れてきています。まだまだ、知名度も少ないのでどんどんPRしていきたいと思えます。



一個(100g) ¥280-の冷凍ハンバーグです。電子レンジ(700W)で2分間加熱し好みのソースをかけて、そのまま食べることができます。レンジで加熱後にフライパンで炙るとよりおいしく食べられます。おすすめのお食べ方は煮込みハンバーグで

ウポポ祭り大盛況

1週間ほど長雨が続き無事に開催できるのか!?不安だったウポポまつりがなんと開催時間だけみんなの思いが天に届いてくれたのか、雨が上がり無事にお祭りが開催されました。FMびゅ〜さんが毎日宣伝してくれ、新聞に入れた折込チラシの効果もあり、およそ200人の地域の方が来てくれました。当日は、「わくわく工房 遊ing」の寺島恵美さんに来ていただきジェルキャンドル製作体験や室蘭のワークセンター岬さんの椎茸詰め放題セールやカフェウポポ特製「鹿肉ザンギ」詰め放題イベントなどを開催してたくさんの人たちに楽しんでいただけるウポポまつりとなりました。フロンティア登別の所員・職員・そして手伝ってくれた家族のみなさんも「働く」やりがいを共感できる大切なひと時となりました。

ウポポ祭りの開催にあたっては地域の方がたから様々なご配慮をいただき無事に開催することができました。本当にありがとうございました。



鹿バーク販売

フロンティア登別



フロンティア登別が開発、販売を開始したエゾシカ肉ハンバーグ

開発1年「風味」真空パック

障害者就労支援施設のフロンティア登別(中登別町、山田大樹施設長)が、自産エゾシカ肉を使ったハンバーグ「鹿(ユク)バーク」の販売を開始した。シカ肉の風味が楽しめる味に加え、つなぎに代わる由來のマンナンを使用しているのが特徴。利用者たちは業務本格化に張り切っている。

(鞆子理人)

約1年間かけて開発に取り組んできた。運営する社会福祉法人ホープ(白老)は、数年前から地元猟友会と連携し、エゾシカ肉の大豆と煮干豆などを製造している。フロンティア登別が今春開設されるに当たり、シカ肉ハンバーグ製造を利用者の業務に位置付け、開発を進めてきた。

一番苦労したのは肉質だった。「肉質が柔らかく水分も多い」ため、ひき肉にしたとき「べちゃっ」とした感じになり、成形が難しく、

食べたときの肉質感もよくなってきた。特別な加工方法を生み出し、しっかりと肉質感が出るように仕上げた。

つなぎにも工夫を加えた。アレルギ物質への配慮のため、通常はハンバーグに使用する小麦粉や卵、牛乳などは一切使わないようにした。代用品としてマンナンやうるち米を使った。原材料の原料はシカ肉、タマネギ、ニンジン、いわし魚油などが並ぶ。ハンバーグは、焼いて真

空パックした形で提供している。味はシカ肉の臭みを取りつつも風味を残し「らしさ」を楽しめるように調整。ソースをかけて食べることを前提にしており、薄味にした。煮込みハンバーグやスパイシーな味付けがおすすめという。

名称の「ユク」はアイヌ語でシカの意味。1個100円で税込み280円。同施設売店のカフェ「ウポポ」でのみ購入可能。利用者のうち8人が同作業に携わっている。今後はハンバーグ用のパテ作りも検討している。

山田施設長は「おいしいと言われる雌の若い個体を選別利用しています。今後は販路拡大も目指している方針ですが、まずは認知度を高めていきたい。安心しておいしくシカ肉ハンバーグをぜひ多くの人に食べていただければ」とPRしている。



HSK ほほえみ

昭和48年1月13日 第三種郵便物認可
発行日 2015年7月10日発行(毎月10日発行)
HSK通巻番号520号
編集人/北海道白老郡白老町字萩野310-110
白老町手をつなぐ育成会 佐藤 春光
TEL 0144-83-3537
会報/226号
発行人/北海道障害者団体定期刊行物協会(HSK)
定価/1部100円(会費に含む)